

[002]九州大学基幹教育院ラーニングアナリティクス センターNewsletter

<https://hdl.handle.net/2324/2230461>

出版情報 : LAC Newsletter. 2, pp.1-, 2016-10. 九州大学基幹教育院ラーニングアナリティクスセンター
バージョン :
権利関係 :





九州大学基幹教育院ラーニングアナリティクスセンター

Newsletter



第3回九州大学基幹教育シンポジウムを開催します

2016年11月23日(水・祝)に、九州大学基幹教育院LAセンターおよび教育データ科学基盤研究センター主催の「第3回九州大学基幹教育シンポジウム」を開催します。基幹教育シンポジウムとしては3回目の開催となり、今回は学内外から講師を招いて『ラーニングアナリティクス(LA)によるアクティブラーナーの育成』をテーマに掲げ、デジタル教科書などの教育の情報化に関する国の政策の動向や、それらの教育情報システムを用いたLAの最新の研究動向を紹介し、教育現場での一つ一つの改善のみならず、教育全体の改革に向けて教育ビッグデータをどのように活用すべきかについて皆様と考えたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

= 開催概要 =

- 【日時】平成28年11月23日(水・祝) 13時~18時
- 【場所】九州大学医学部百年講堂(病院キャンパス内)
- 【参加費】無料
- 【定員】500名
- 【問合せ先】九州大学基幹教育院事務室

MAIL: sympo@artsci.kyushu-u.ac.jp



※ 詳細は添付のチラシをご参照ください。

■参加申込はこちら(申込締切: 2016年11月20日(日))

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/topics/view/175>

定員になり次第
締め切り



M2B分析レポートの配信を開始しました

2016年度前期授業にてM2BシステムのmaharaまたはBookLooperを利用された先生方に、活動分析レポートを配布いたしました。今後も授業閉講後に分析レポートを配布する予定ですので、ぜひM2Bシステムをご利用いただいて、授業改善の参考になさってください。



BookLooper分析レポートの例

アクティブラーナー・ランキングやAL
尺度の推移が掲載されています！

スライド資料の閲覧傾向について
分かりやすく解説しています！



mahara分析レポートの例

日誌に書かれた単語のランキングや、
その文章例が掲載されています！

各回の日誌を見やすくレイアウトし
た一覧が見られます！



<http://lac.kyushu-u.ac.jp>



<https://www.facebook.com/KyushuUniversityLAC>



M2B(みつば)学習支援システム講習会を開催しました

2016年9月5日(月)と8日(木)に、教材開発センターと当センター主催のFDの一環として、M2B学習支援システム講習会を開催し、多くの方にご参加いただきました。今回は今までの入門編から一歩進んだ応用編として、具体的に授業内で活用する方法を実践形式で体験していただきました。

10月3日より2016年度後期が開講されましたので、この機会にぜひM2B学習支援システムを使い始めてみませんか？利用方法で分からない事がありましたらM2B事務局までお気軽にお問合せください。

M2B事務局

TEL : 092-802-5857

MAIL : m2b-office@artsci.kyushu-u.ac.jp

対応時間：平日9時～16時



M2B利用アンケートを行いました

2016年度前期にM2Bシステムを利用した教職員を対象に、システムを利用した感想などのアンケートを実施しました。詳細は後日、当センターHP内で公表する予定です。

今後は、いただいたご意見をもとにシステムを改善し、充実させていきたいと考えていますので、引き続き多くの皆様にご利用いただければ幸いです。

【実施日】2016年8月19日～31日

【対象者】九州大学教職員 2027名

【回答者】九州大学教職員 229名(回答率11%)



M2B学習支援システム ポータルサイト

<http://m2b.kyushu-u.ac.jp/>



ワークショップを開催しました

2016年9月23日(金)に、デュースブルク大学のUlrich Hoppe先生と北陸先端科学技術大学院大学の池田満先生が来訪され、ラーニングアナリティクスに関するワークショップを開催しました。



M2B ワンポイントレッスン

【教員編】

moodleの講義コースは、初期設定では『非表示』になっています。その場合、教師にはコース名がグレーで表示され、学生にはコースが表示されません。moodleのコースを利用するためには、教師がコースの『表示化』を行ってください。

表示化の方法は、M2Bマニュアル(教師用)の8頁「2.2 コースの表示化」をご参照ください。



メンバー紹介

基幹教育院 准教授 島田敬士

幼少期から習い続けた書道を通して、字を書くことの楽しさや難しさを知りました。最近は活字入力が増えて、字を書く機会が悲しいほどに減ってしまいましたが、たまに筆を取って字を書いてみると『字はいいなあ』と思います。「字は心を映し出す鏡」とも言われます。自分の字を見つめてみるのも面白いですよ。





第3回九州大学基幹教育シンポジウム

ラーニングアナリティクス(LA)による アクティブラーナーの育成

—— 教育ビッグデータをどう活用すべきか? ——

定員
500人
参加費
無料

近年、デジタル教科書やe-Learning等の情報システムを活用した講義のみならず、アクティブラーニングや反転学習による講義など、教育の多様化が促進されています。そのような中、九州大学は、2014年4月から、「アクティブラーナー」の育成を教育目標に掲げ、「基幹教育」を開始しました。特に、アクティブラーナーとして、生涯にわたる自律的に学ぶ姿勢を身につける過程においては、「何を学習したか」ではなく、「いかに学習したか」という学習のプロセスが重視されます。

九州大学では全国に先駆けて、学生所有PC必携化(BYOD: Bring Your Own Devices)を推進し、教育情報システムを用いて学習活動のプロセスを記録することにより教育ビッグデータを構築し、それを分析する、ラーニングアナリティクス(LA)を実践しています。2016年2月には、LAセンターを日本で初めて設立し、全学的に教育ビッグデータの利活用に取り組んでいます。さらに、科研基盤研究(S)「教育ビッグデータを用いた教育・学習支援のためのクラウド情報基盤の研究」(研究代表者:緒方広明)に採択され、2016年11月には教育データサイエンス基盤研究センター(EDS)の設立を予定しています。

本シンポジウムにおいては、デジタル教科書などの教育の情報化に関する国の政策の動向や、それらの情報基盤を用いたLAの最新の研究動向を紹介し、教育現場での一つ一つの改善のみならず、教育全体の改革に向けて何が必要かを皆様と考えたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

2016.11.23 水祝 九州大学医学部百年講堂

病院キャンパス 〒812-0054 福岡市東区馬出3丁目1番1号

プログラム(司会: 山田 政寛 九州大学基幹教育院 准教授)

- 13:00 開場
13:30 開会
- 第1部 LAの実践**
 挨拶 ▶ 九州大学 理事・副学長・基幹教育院長 丸野俊一
 基調講演 ▶ 文部科学省 研究振興局 参事官(情報担当) 榎本 剛
 「AI/ビッグデータ研究と教育改革への期待」
 特別講演 ▶ 東北大学大学院情報科学研究科 教授 堀田龍也
 「デジタル教科書に関する政策動向とLAに対する期待」
 講演 ▶ 九州大学基幹教育院 教授 緒方広明「九州大学におけるLAの取り組み」
 <休憩15分>
- 15:30 **第2部 LAの研究**
 挨拶 ▶ 九州大学 理事・副学長 安浦寛人
 特別講演 ▶ 京都大学情報環境機構IT企画室 教授 梶田将司
 「LAによる教育学習活動支援のための情報環境と研究開発」
 特別講演 ▶ 北海道大学大学院情報科学研究科 教授 杉本雅則
 「センサーデータの利用とLAへの期待」
 講演 ▶ 九州大学基幹教育院 准教授 島田敬士「学習活動のリアルタイム分析」
 <休憩15分>
- 17:00 **パネル討論** 司会:緒方広明 パネリスト:講演者全員
 18:00 閉会



- 西鉄バス利用 「九大病院」下車 徒歩7分
- JR利用 「吉塚駅」下車 徒歩15分
- 福岡市営地下鉄利用 「馬出九大病院前駅」下車 徒歩10分

▼ 問い合わせ

九州大学基幹教育院事務局 〒819-0395 福岡市西区元岡744
E-mail▶ sympo@artsci.kyushu-u.ac.jp

▼ 参加申込

以下のホームページからお申し込みください。
<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp>
<http://goo.gl/yN9AJC>

申し込み締め切り

11月20日(日)